



パース通信



Vo.6

今年度1年間交換教員として、オーストラリアのパースに赴任している英語科伊東が、オーストラリアや海外から見た日本についてお伝えします。

さて、皆さん。Vol.6は、「Perthでのリアルな生活とホームステイで気をつけること」についてお伝えしようと思います。

まずはホームステイで気をつけることについてお話をしましょう。中学生や高校生の皆さんが夏期休業中にパースに語学研修に来る場合、ほとんどがホームステイを経験することになると思います。ホストファミリーのお家の一部屋を間借りして、1週間もしくは2週間を過ごすことになると思います。海外を始めて経験するという場合、とても不安があると思います。

まず、日本にいるときから連絡先を知らされている場合には、必ずメールをするようにしてください。家族を含めた情報を先に伝えておくと、受け入れる方はとても安心できます。お土産についても、そのときに聞いてみて確認しておくとい良いでしょう。他にホームステイをしている違う国の人がいる可能性もあります。情報を交換すると準備に役に立ちます。英語でしっかりとコミュニケーションをとるようにしましょう。

ホームステイでは「自分のことは自分でやる」ことが基本です。掃除はもちろんのこと、食事に関しても、手伝えるところがあればどんどん自分から声をかけて手伝うとい良いでしょう。後片付けはもちろんです。普段からお家でお手伝いをするように心がけていけば自然にできると思います。ぜひ、普段から家事をするようにしてください。

各家でルールが違ふと思います。お昼ごはんも作って持たせてくれる家もあれば、自分で作りなさいということもありますし、お金を渡されてこれで食べなさいといわれることもあります。昼食については、一切何もしてくれないという家庭もあるように聞きました。昼食については、自分から各家庭に確認を必ずするようにしてください。

さらに、洗濯についてもよくホストファミリーに確認してみてください。何時までどこに出してくれたら洗

濯しておくよといってくれる家庭もあれば、まとめて洗濯するから必要なものは自分で洗濯するか、洗濯には出さずに過ごすしかないという家庭もあります。

通学の方法についても、各家庭でしっかりと確認しておくとい良いでしょう。車で送り迎えをしてもらえることはほとんどありません。自分でバスなどを使って通学することになります。研修先へどのようにしていけばいいのかしっかりと確認しておいてください。

そして一番よく聞くお話は、お風呂についてです。オーストラリアでは、基本的にシャワーしか浴びません。家にバスタブがないことの方が普通で、仮にバスタブがあったとしても、お湯を貯めて入ることはほぼありません。シャワーを浴びることが基本になると思いますが、時間を制限されることが多いと思います。基本は3分以内。オーストラリアは水がとても貴重です。非常に水道料金が高く、お風呂好きの日本人にとっては非常に不便を感じるどころだと思ふます。ですが、「郷に入れば郷に従え」、です。しっかりとホストファミリーと情報交換をしてください。

パースでのリアルな生活についてですが、スーパーなどで買い物をすると、日本に比べてジュースなどの飲み物が驚くほど高いことに気づくでしょう。3倍ほどします。水分が必要であれば、水を大量買いしておくとい便利です。

また自分のおやつ用に果物を買っておくとい良いでしょう。おすすめはぶどう、バナナ、りんご、洋ナシです。りんごは日本のものよりも小さくて、食べやすくおやつに最適です。どの果物もリーズナブルで買い求めやすいので、ぜひ試してみてください。

こちらで料理する機会があれば、ぜひキッチンをかりて日本料理を披露してあげてください。しょうゆやみりんなどは大型スーパーでも売っていますが、ソースは売っていません。献立を工夫して準備してくださいね。

次回の通信は、「Perthでのリアルな生活その2と公共交通機関について」をお届けしようと思ふます。